九州大学大学院比較社会文化研究院　院長裁量経費プロジェクト

「自然科学からの考古学へのアプローチ
－文理融合の先導的研究の発展に向けて－」

2015 年 9 月 8 日（火）、9 日（水）　（会場：九州大学西新プラザ）

9 月 8 日 12:50-18:20（座長：足立・畠山・山本）

12:50-13:00 開会の挨拶

13:00-13:30「黒曜石製石器の原産地解析システムの構築についての取り組み」隅田祥光（長崎大）

13:30-14:00「石製資料の地球科学的分析に基づく原産地推定」田尻義了・足立達朗・中野伸彦・小山内康人・田中良之（九州大）

14:00-14:30「陸貝の酸素同位体比に記録される古気候と考古情報」狩野彰宏（九州大）

（休憩）

14:50-15:20「コイ科魚類咽頭歯遺存体から何が言えるか」中島経夫（岡山理科大）

15:20-15:50「アジア・モンスーン地域における土地開発の歴史的変容とその要因解明」宮本真二（岡山理科大）

15:50-16:20「遺跡出土昆虫から探る古環境と人々の暮らし」荒谷邦雄（九州大）

（休憩）

16:40-17:10「日本における考古地磁気学と地磁気永年変化」畠山唯達・鳥居雅之・山本真央（岡山理科大）北原優（九州大）渋谷秀敏（熊本大）広岡公夫,・吉原新（富山大）

17:10-17:40「陶邑古窯群の古地磁気再測定――考古地磁気学のポテンシャルと問題点――」渋谷秀敏・望月伸竜（熊本大）畠山唯達（岡山理科大）

17:40-18:00「古地磁気学からの考古学へのアプローチと地球科学へのフィードバック」大野正夫（九州大）

18:00-18:20 総合討論Ⅰ（自然科学から考古学への寄与と文理融合研究の重要性）

9 月 9 日 9:30-12:40（座長：齋藤・福間）

9:30-10:00「陶邑（すえむら）窯跡群の焼土試料からの考古地磁気強度推定へ向けて」山本裕二・　西山大樹（高知大）夏原信義（夏原技研）

10:00-10:30「西日本における考古地磁気強度変動の復元と岩石磁気学的・鉱物学的要素の検討（予察）」北原優（九州大）畠山唯達（岡山理科大）山本裕二（高知大）鳥居雅之・亀田修一（岡山理科大）菅浩伸・大野正夫（九州大）

10:30-11:00「火山岩から得た過去 400 年間の考古地磁気強度」福間浩司（同志社大）

（休憩）

11:20-11:50「甲信地方の松本市と北杜市の遺跡より検出された焼土の考古地磁気研究」邊見涼・齋藤武士（信州大）

11:50-12:20「福井県越前焼古窯の古地磁気学（予報）」藤井純子（福井大）畠山唯達（岡山理科大）

12:20-12:40 総合討論Ⅱ（日本における考古地磁気学の今後の研究展開）